

ロングパルスアレキサンドライトレーザー（755nm）で 表在性良性色素性疾患治療を受けられる方へ

説明・同意書

ロングパルスアレキサンドライトレーザーでの表在性良性色素性疾患の治療は、アレキサンドライトレーザーがメラニン色素へ吸収されやすいといった特性を活かして、表在性色素斑の色を徐々に薄くしていく治療になります。メラニンの濃さや深さなどによって反応が違ってきますので、すべての方が1回の治療で完治するわけではありません。3回程度の治療を目安に徐々に薄くしていきます。治療期間中はお肌の自己ケアが大変重要になります。

治療が受けられない方

下記の病気や症状がある方、下記薬剤の使用中的の方は治療を受けられません。

- 光過敏症 単純ヘルペス1型、2型の活動病変 開放創や感染創 刺青の部位
治療部位の癌 2ヶ月以内の日焼け 真皮性の色素斑の部位 等

※妊娠中の方は安全性が確立されていません。医師にご相談ください。

治療に注意が必要な方

下記の病気や症状がある方、下記薬剤を使用中的の方は医師の判断によって治療が受けられない場合があります。

- てんかん発作 ケロイド、瘢痕体質 免疫抑制剤 ステロイド製剤 全身状態不良
糖尿病等の慢性疾患 フィラー注入部位 等

適応となる色素性疾患

- 老人性色素斑 雀卵斑 脂漏性角化症

治療経過について

濃い色素斑にはレーザーは良く反応しますが、薄い色素斑の場合は反応が低くなる可能性もあります。完全な肌色にまで回復せず「淡いくすみ」の状態が残ることもあります。色素斑の濃さにより治療回数は異なってきます。

効果がみられなければ他の治療の検討が必要になることもあります。また皮膚の過剰反応により、炎症後の色素沈着を起す可能性があります。これらは色素沈着を起こした場合、数か月から半年で目立たなくなります。

医師の診察により、シミや炎症を抑える軟膏塗布（例；ハイドロキノン：美白剤）などの指示が出た場合には従って下さい。

治療後の自己ケアについて

◇治療部位の皮膚表面は炎症を起こしている状態です。軟膏（ワゼリンやステロイド）を塗り治療部位を保護します。場合によってはテープ等を貼って保護します。自然にテープが剥がれるまでは貼ったままで洗顔や化粧を行って下さい。剥がれた時はかさぶたが取れるまではテープを貼り直し、その上から軟膏をなじませるように塗布して下さい。軟膏を先に塗るとテープが貼りつきにくくなります。

◇治療部位のかさぶたはレーザー照射後約1週間で取れ、テープと軟膏でのケアは必要なくなります。かさぶたが取れた後の部位には薄いピンク色の表皮が見られます。この状態になってからは色素沈着を起こしやすくなりますので、日焼け止め（SPF30以上）を使用し、日焼けを予防してください。また、美白剤（ハイドロキノン製剤）の併用もお勧めします。

※ロングパルスアレキサンドライトレーザーによる良性色素性病変の治療は、施術後すぐに結果が出ないこと、繰り返しの治療が必要であることを必ず事前にご理解下さい。レーザー単発の照射で1個ずつシミを取るのにはQスイッチYAGレーザーであり、レーザーの種類が違います。（シミ取りレーザーにも種類がたくさんあります）

上記コース料金の条件について納得・理解した上で、コース施術を受けることに同意いたします。

年 月 日

印